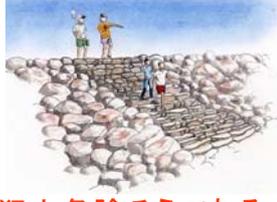


(3) 景観アンケート調査での低い評価への対応

◎ 全体的に人工的で単調な印象である

⇒ バリエーションで形状に変化をもたせる

例1) 部分的な自然石階段によるアクセス部の形成

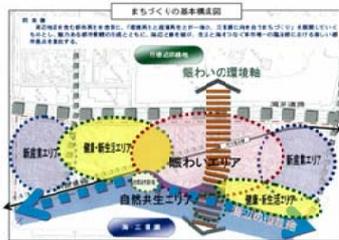


例2) 小島による利用・環境学習（観察等）の場の形成



◎ 防犯上危険そうである

⇒ 防犯灯の設定などについて街づくり計画と調整する



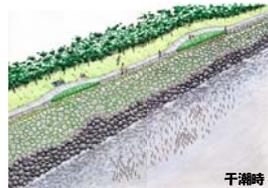
◎ 利用上危険そうである

⇒ 利用区域と非利用区域とに区分し、利用区域ではバリエーションで安全確保する

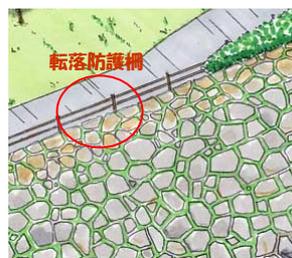
= 人の利用を許容する範囲のイメージ図 =



= 人の利用を許容しない範囲のイメージ図 =



⇒ 転落防護柵の設置や浅場をつくるなど安全対策を検討する。



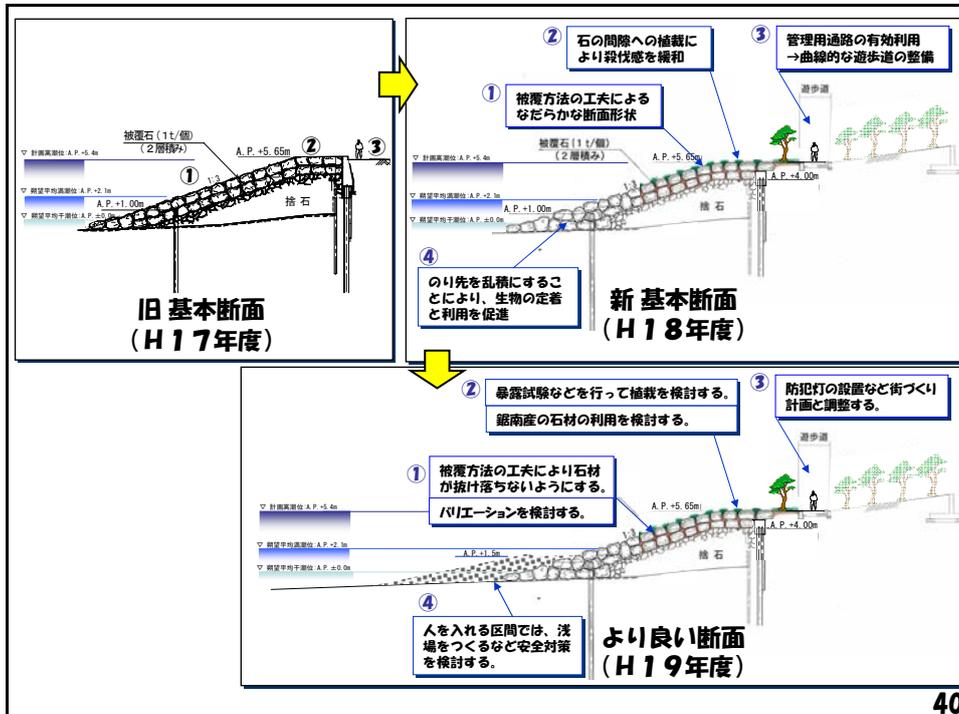
(5) よい断面の提案

項目	H17年度の取り組み	H18年度の取り組み
① 断面形状	3割の緩傾斜断面	① 〇被覆方法を工夫し角張った断面形状を造らない(ハッキリとした護岸法線(稜線)を造らない)。
② 景観	自然石の利用	② 〇石の隙間に植栽をほどこし、殺伐感を緩和する。
③ 管理用通路	一般的な管理用通路	③ 〇管理用通路を有効利用し、曲線的な遊歩道(フロムナード)を造る。
④ その他	特になし	④ 〇事例等を参考にしてよりよい工夫を行うものとし、のり先部分は乱積みとして生き物に配慮していく。



項目	求められる対応	H19年度の取り組み
① 断面形状	〇施工後、被覆石が抜け落ち斜面に穴が空き危険 〇全体的に人工的で単調な印象	① 〇被覆石が抜け落ちない構造とする。 〇バリエーションを検討する。
② 景観	〇全体的に人工的で単調な印象 〇被覆石に花崗岩以外の柔らかなイメージの石が使えないか	② 〇植栽の暴露試験を行うなどして種類を検討する。 〇バリエーションを検討する。 〇天端部分への鋸南産の石の利用を検討する。
③ 管理用通路	〇防犯上危険そうである	③ 〇防犯灯の設置など街づくり計画と調整する
④ その他	〇施工後、潮間帯にカキ、フジツボ、藻類等が着生し、歩行等に危険である 〇利用上危険そうである	④ 〇危険防止対策を検討する。(利用区域と非利用区域の区域分け、転落防護柵や浅場づくり、安全な足もとづくり)

39



40